

訪問リハビリテーション情報誌

第29号 発行月2019年4月

みなりハ

『地域リハビリテーション課の新体制が始まります！』

昨年度は大変お世話になりありがとうございました。新年度を迎え、優しく温かい春の日差しを感じる、心地よい季節になってきましたね。さて、春といえば出会いと別れの季節ですが、地域リハビリテーション課にも出会いと別れがありました。

昨年度まで管理者をしていた宮城が出向となったため、新しい管理者は上野となります。また新たに2名のスタッフが加わります。今年度も更なる努力をし、精一杯の対応をさせていただきます。引き続き、新体制の地域リハビリテーション課をよろしくお願い致します！

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。1月末で出向になりました宮城雅徳と申します。

その節は急なお話で皆さまには大変ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。

2月から大津市黒津にある通所リハビリにて日々頑張っております。

遠くから皆さまの健康と充実した生活をお祈りしておりますので、お互いに頑張りましょう。

長い間お世話になり、ありがとうございました。



この4月にケアタウン南草津から異動してきました小林桜と申します。

地域リハビリテーション課といえども久しぶりの病院勤務で

気持ちも新たに頑張りたいと思います。

ケアタウンでは主に通所リハビリで様々な経験を積ませていただきましたので、

こちらでも病院と地域を繋ぐ役割でもできたらと思っていますので宜しくお願い致します。



皆さん、はじめまして！北村育雄と申します。

南草津病院で働き始めて、この4月で12年目になります。

趣味はバスケットボールとソフトボールで、体を動かすことが大好きです。

これまでは病院で回復期リハビリや外来リハビリを中心やってきました。

今回、訪問リハビリに携われるのは初めてですが、とても楽しみにしています。

一生懸命頑張りますのでよろしくお願いします。



※訪問リハビリスタッフの人員調整の関係で、時間及び曜日変更のお願いをさせて頂いた方には、ご理解・ご協力頂き、改めてお礼申し上げます。

み な り ハ 通 信

『今年度もケアマネジャー向け勉強会を開催します！』

平成 29 年 4 月に立ち上げました地域リハビリテーション課も皆さまのご理解・ご協力を得ながら 2 周年を迎えることが出来ました。立ち上げと同時に開催してきたケアマネジャー様との合同勉強会も 3 年目に突入します。

今年度も引き続き、合同勉強会を開催し、ケアマネジャー様と意見・情報交換を行いながら、私達が利用者様やご家族にとって、より良い関り方を考える場にしていきたいと思います。



『受診が出来るようになりました！』

今回は「介護タクシーを使わずに自分たちで受診をしたい！」という目標に向かい、訪問リハビリを行った A さんを紹介したいと思います。

A さんは外出時の移動は車椅子を使用されており、玄関から門構えまでに段差が 4 段あり、一番高い段差は 20 cm の高さがあります。ご家族の介助では車いすを押しながら 20 cm の段差を昇降することは難しく、いつも介護タクシーのスタッフに介助をしてもらっていました。

今回、介護タクシーではなく、ご家族の介助で受診ができるようにならないかと相談があり、受診できる方法を一緒に考え、取り組みました。

まず、A さんのできる能力の評価を行いました。手すりさえあれば段差昇降ができ、歩行器を使えば歩くことができました。そこで、車椅子ではなく、歩いて段差を昇降し、門構えまで行くことはできないかと考えました。しかし、4 段分の手摺りを設置しようとするとう介護保険の限度額を超えてしまい、また門構えから駐車場に移動するとなると距離が増え、かえってご家族の介助量も多くなります。そこで、見る視点を変え、門構えからの出入りではなく、直接、玄関から駐車場に向かう方法はどうかと考えました。玄関から直接駐車場に向かうと段差は 2 段となり、限度額内で手摺りが設置でき、すぐに車に乗ることが出来るので介助量も少なくなります。手摺り改修後、何度か練習を重ねることで介護タクシーを利用せずに、ご家族の介助で受診ができるようになりました。

ご家族の介助で受診が出来るようになったことで、外へ出る自由度が増し、外出の意欲も高くなりました。次は散歩に行けるようになりたいと希望をもたれています。今後はご家族と一緒に散歩ができるように、引き続き支援できればと思います。

必ずしも決められた場所から出入りする必要はありません。専門職と話し合い、視点を変える事で、可能性は広がります。皆さんもお困りの事があれば、気軽に訪問リハビリスタッフにご相談ください。